

シャッターチャンス!



シュート! 車いすバスケット ボールを体験

一枚でも多く取るぞ

2/19 勤労者体育センター

2/6 篠津小・中学校体育館



第22回白子連さいたま郷土かるた大会が行われました。大会では団体戦、個人戦が行われ、参加した子どもたちは、一枚でも多く取るうと、がんばっていました。



町制施行50周年記念事業・「NHKハート・スポーツフェスタ 体験!車いすバスケットボール」

車いすバスケットボールプレイヤーの神保康広さんや、白岡町在住の塩田清高さんなどを招き、健常者、障害者が共に、車いすバスケットボールを体験しました。車いすを操作しながらのプレーに苦労しながらも、素晴らしいゲームを繰り上げました。

今年の無事を祈って だるま市



2/15 白岡八幡宮境内

家内安全、交通安全、商売繁盛、学業成就など、だるまを買い求めにくる人たちに賑いました。

「ふくは~うち!」 2/6 興善寺



新春を祝う豆まきまつりが行われ、当日は、興善寺山門楼上から幼稚園児、町民のかたがた150名以上が豆まきをしました。

家族経営協定調印式

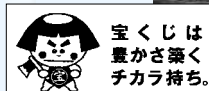


1/24 役場庁舎

農業経営・生活に関するルールづくりを話し合った5家族が、濱田町長や岡安農業委員会長の立ち会いのもと、家族経営協定調印式を行いました。

コミュニティ備品収納庫を設置しました

1/31 宮山団地自治会



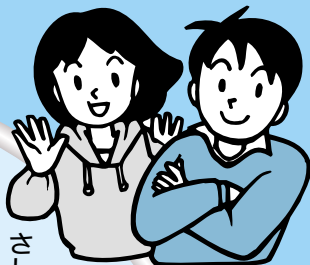
宝くじは、広く社会に役立てられています。

宮山団地自治会(上野田第2行政区)では、1月に(財)自治総合センターが実施している「平成16年度 宝くじ助成」を受けて、コミュニティ備品収納庫を設置しました。

差別のない明るい地域社会に

平成16年度人権標語

人権意識の高揚と、差別のない明るい地域社会の実現を目指すため、小・中学生に人権標語を考えてもらいました。このうち、特選に選ばれた作品をご紹介します。



人権は
みんなを守る 宝もの
菁我中学校 1年生
新井 友香理さん

さしのべよう
優しさ溢れる きみの手を
篠津中学校 1年生
栗原 裕子さん

考えよう
相手の気持ち 自分の行動
白岡中学校 3年生
砂川 沙央里さん

差別の芽
見て見ぬふりは
やめようよ
南中学校 3年生
武藤 あずささん

みんなそれぞれがちがうから
くらべちゃだめだよ ぼくはぼく
白岡東小学校 3年生
齋藤 康平さん

ちきゅうは一つ
みんななかよく 手をつなごう
大山小学校 3年生
渡邊 里沙さん

守りたい
やさしさあふれる
みんなの笑顔
西小学校 5年生
神田 千聡さん

しあわせは
あいてを思っ ころから
菁我小学校 3年生
西條 恵さん

やさしさは
みんなをつなく 虹の橋
篠津小学校 4年生
川邊 未来さん

あいさつは
人にやさしく ほほえんで
南小学校 2年生
半田 智輝さん



問合せ先
生涯学習課社会教育係 内線273

人権それは愛

『情報化社会における人権侵害』

コンピュータ技術は驚異的なスピードで進歩を続け、日々の社会生活の中で欠くことのできないものになっていきます。

しかし、コンピュータの情報伝達の早さ、範囲の広域化（全世界）、発信源の不透明性、閲覧の簡易性などが、人権の問題において非常に大きな課題となつていきます。

特に、発信源の不透明性を悪用した、インターネットへの差別書き込み事件が多発しています。ほとんどの場合は愉快犯的なものですが、中には個人を特定した確信犯と思われるものまでさまざまな形で書き込みがされています。

これは、コンピュータの通信技術を利用した、新たな人権侵害の形と言えます。

今までのように、落書きやはがきのようなものでも、多くの人に間違つた情報が伝わってしまうのに、このインターネットにより、今までは比較にならないほど多くの人に配信され、また、閲覧が可能になってしまっています。



このような情報化社会の中でわたしたちは、情報通信技術の恩恵を受けるにあたり、その特性を十分に理解した上で、利用にあたってのルールを守っていかなければならないのです。

21世紀は「人権の世紀」と言われています。それは、わたしたち一人ひとりが人権意識を高め、差別を許さない心を持ち、人権を認めあうというたいせつなルールを守っていくことという時代なのです。

機械は単体では何もできません。その機械を人間一人ひとりが正しい知識・認識のもとで扱えば、誰にとっても快適な情報化社会になるのではないのでしょうか。